

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>地域と連携協働し、一人一人の個性を大切に育て、地域社会に貢献できる人材を育成する学校 地域の人材育成拠点として、充実した理数教育など個々の資質・能力を一層伸ばす教育活動を展開することで、生徒一人一人の希望進路を実現するとともに、多角的な視点で物事を考える力を持った人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>①学力向上及び進路実現に必要な基礎的な知識、技能の育成 ②情報化社会における正しい情報収集力・情報分析力・情報活用力の育成 ③他者と協働することによる、課題発見力・課題解決力・コミュニケーション能力の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>①個性や進路目標に応じた受講科目の選択及び習熟度に応じた授業の実施 ②「総合的な探究の時間」を中心とした協働的・探究的・体験的な学びの実施 ③理数探究コースにおける理科と数学を融合した想像力と好奇心を育む授業の実施 ④コミュニティスクールとして地域と連携協働した実践による社会に開かれた教育課程の実現</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>①「山門高校で学びたい、チャレンジしたい、自分を成長させたい」という意欲にあふれる生徒 ②好奇心及びチャレンジ精神旺盛で主体的に行動できる生徒 ③国内・国外を問わず、社会に貢献しようという意欲と実践力を持った生徒 ④人に対しては「誠実」な態度で接し、物事に対しては「丁寧」な態度で取り組むことができる生徒</p>

学校運営計画(4月)			
学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>令和6年度は、令和5年度から掲げた学校スローガン「一歩前へ チャレンジ！」の2年目であった。教職員・生徒ともにこのスローガンが更に浸透し、学校全体が「チャレンジ」を合言葉に多方面の教育活動にチャレンジした。特に生徒の地域貢献活動は目覚ましいものがあり、ボランティア活動において、市内の小中学校や行政機関からだけでなく、福岡県内外からも高く評価された。</p> <p>また、福岡県が主催する「次世代リーダー塾」と「知の創造塾」にも昨年同様、多くの生徒が志願し、選出された。</p> <p>令和5年度に新たに創設した「Oneヘルスクラブ」のニホンウナギの絶滅回避を目的とした環境保護活動が飛躍的な1年であった。県内のみならず、関東や関西での研究発表を行うなど活動の範囲は全国へと広がった。アジア獣医師会主催の大会でも発表の機会を与えられ、発表内容が世界へ発信されるなど、Oneヘルスクラブはついに世界進出を果たした。</p> <p>このような本校の教育活動が高く評価され、「令和6年度福岡県教育文化表彰」及び「令和6年度福岡県とびうめ教育表彰」において、最優秀校として2つの賞をダブル受賞した。</p> <p>令和5年度及び令和6年度に培った推進力を止めることなく、令和7年度も更なる教育活動の充実に努める。</p>	<p>A 全ての生徒が笑顔で楽しく安心して学校生活を送ることができるよう、一人一人に応じた適切かつ丁寧な支援に努める。</p>	<p>①生徒が安全・安心で快適な学校生活を送ることができるよう、全教職員が生徒一人一人への十分な配慮に努める。また、生徒相互の理解を深めさせ、望ましい集団作りに努める。 ②保護者との信頼関係の構築と及び職員間での情報共有に努める。 ③すべての教科・科目を通して、生命・健康・人権が大切にされるよう指導にあたり、「生きる力」の基礎・基本を学ばせる。</p>	
	<p>B 生徒の多様な進路希望を実現することができるよう、個々の習熟に応じた授業やクラス編成を生かした学力向上を図るとともに、理数探究コースの更なる充実を目指しDX推進に着手する。</p>	<p>④生徒の多様な進路希望に対して丁寧に指導にあたる。公務員合格対策や看護系進学にも更に注力し、全方位的に生徒の進路実現を図る。 ⑤「わかる、わかりやすい授業」を超えて、「わかるまで教える、学べる授業」となるよう、全教職員が研鑽を重ねる。 ⑥習熟度別授業など習熟度に応じた授業や観点別評価により、全生徒の学習成果を上げる。 ⑦正課授業だけでなく、全教育活動の充実を目指し、教育のDX化を推進する。</p>	
	<p>C 同窓会とも連携し、一人一人が「母校に対する自信と誇り」が持てるような学校づくりに努める。</p>	<p>⑧学校行事の充実・発展を図り、行事を通して、生徒の所属感を高め、愛校心を伸ばす。 ⑨教師、生徒ともに、日々の清掃活動を通して、校内に塵一つない、学びにふさわしい環境整備に努め、心地よい学びの場づくりを目指す。 ⑩社会で活躍している卒業生の講演会等を通して、自己の将来について考えさせる契機とする。</p>	
	<p>D 失敗を恐れずチャレンジさせるとともに、様々な機会を学校の内外で仕組み、主体性・自律心・企画力・リーダー性等の非認知能力を育む。</p>	<p>⑪本校は生徒がリーダーになるチャンスに溢れている。生徒がチャレンジできる教育活動を仕組み、生徒が自分を超越伸長できる機会を設定する。 ⑫本校は「みやま市唯一の高等学校」である。行政や企業・産業との連携(地域連携・地域密着)の中で生徒を育て、生徒が将来地域を支える人材となるよう、教育活動を充実させる。 ⑬「主体性を育てる」ために教職員が「透明の線路」を敷き、生徒を導き支えることで、主体性を育てる。</p>	
	<p>E 地域貢献を図りながら「山門の魅力」を市内の小・中学校をはじめ学区内の関係各所に、はやく・広く・深く・具体的に発信することで志願者数の増加と入学定員数の確保につなげる。</p>	<p>⑭ホームページ更新、広報誌発行、ポスター掲示の頻度・回数を更に増やし広報活動を充実させる。 ⑮オープンスクール、体験入学、入試説明会、放課後説明会、市内中学校との授業交流などで、本校の教育活動・施設設備を直に体験する機会を設け、魅力を伝える。 ⑯第10学区唯一の「理数探究コース」の一層の特色化を進める。コース行事や学校設定科目をさらに充実させ、コースの魅力を発信する。</p>	

	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	A 安心、安全な学習環境を整え、生命・健康・人権が大切にされる教育支援を図る。	①定期的に学習環境調査や点検を行い、教師・生徒の双方が学びに向き合える環境を作る。	学校生活アンケート 授業アンケート	
		②生徒一人一人を大切に、対応・連携が必要な際は職員会議や学年会議を通じて共通理解を図る。		
		③規範意識や人権感覚を育む項目を年間指導計画に記し、授業で実践する。		
	B すべての生徒の進路希望を実現するために、学力を身に付けさせる。	④教科会議を設け、生徒の学力伸長や進路実現に向けた年間指導計画の作成を教科で検討する。	授業アンケート	
		⑤年間指導計画とルーブリックの作成を通じて、計画的で目標が視覚化された指導を行う。		
		⑦適切な観点別評価を通じて、生徒の意欲・学力をともに向上させる。またDXも進めながら全ての教育活動に活かしていく。		
	C 学校生活を通して、愛校心を持ち、母校に対して自信や誇りが持てるような生徒の育成に努める。	⑧日々の授業を通して、協力や相互扶助の精神を養わせ、クラスの所属感や学年の連帯感を高めさせる。	学校生活アンケート	
		⑨清掃で気持ちの良い学習環境を整えるため、職員が率先して清掃場所に向かい、清掃指導を行う。		
		⑩愛校心を育む取り組みや、地域に根差した活動を特別活動等に取り入れ、計画的に実践していく。		
	D 学習活動等を通じて、主体性、自律心、失敗を恐れないチャレンジ精神を育む。	⑪生徒一人一人を尊重した教育活動を通じて、生徒一人一人のチャレンジを後押しする。	学校生活アンケート 授業アンケート	
		⑫総探やHRを通じて、職員と生徒がともにボランティア等の地域貢献活動を行い、企画力や奉仕精神を育む。		
		⑬教育活動全般においてクロームブック等のICT機器を使用させ、生徒の主体性や自主性を育む。		
企画課	A 一人一人の適切な支援に努め、生命・健康・人権が大切にされる学校づくりに努める。	②職員間での情報共有に努め、適切な情報をHPや広報誌などを通じて発信し、保護者の信頼を得る。	新入生対象の学校選択に関するアンケート	
		③すべての教科・科目を通して、生命・健康・人権が大切にされるような指導を行っていることを内外にアピールする。		
	C 一人一人が「母校に対する自信と誇り」が持てるような学校づくりに努める。	⑧学校行事の充実・発展を図り、行事を通して、生徒の所属感を高め、愛校心を育む。	学校生活アンケート	
		⑩社会で活躍している卒業生を広報誌や職員室前の掲示板等で紹介し、自己の将来について考えさせる契機とする。		
	D 体験入学や学校説明会などの様々な機会を生徒主導の取組を行い、主体性・自律心・企画力・リーダー性を育む。	⑪体験入学や放課後説明会などで生徒が主体的に取り組む教育活動を仕組み、主体性や企画力、リーダー性を育成する。	県立高校合同説明会時のアンケート 体験入学時のアンケート	
		⑫「みやま市唯一の高等学校」としての強みを生かすとともに、中学校や行政機関との連携のもと、地域に貢献できる人材を育てる。		
	E 同窓会や父母教師会と連携し「山門の魅力」を小・中学校をはじめ周辺地域に発信することで志願者数の増加につなげる。	⑭ホームページ更新、広報誌発行、ポスター掲示の頻度・回数を更に増やし広報活動を充実させる。	HPの閲覧数 体験入学時のアンケート	
		⑮体験入学、入試説明会、放課後説明会で、本校の教育活動・施設設備を体験する機会を設け、魅力を伝える。		
		⑯第10学区唯一の「理数探究コース」の一層の特色化を進めるとともに、コース行事をさらに充実させコースの魅力を発信し、志願者数の増加につなげる。		
生徒指導課	A 安全教育の充実を図る。	①②学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。	学校生活アンケート	
		①②学校生活アンケート、個人面談で生徒の状況を把握し、教育相談委員会(いじめ問題対策委員会)で情報の共有を図る。		
		①交通安全教育の充実を図り、バイク通学者には定期的に集会や実技指導を行い安全への意識を高める。		
		①必要に合わせて校外指導や校内巡視を行い、生徒の学校生活上の安全を確保する。		
		①学校行事等で事前指導を徹底することで事故の未然防止を図る。		
		①危機管理マニュアルをもとに事故防止の徹底を図る。		
	C 愛校心を高め、一人一人が「母校に対する自信と誇り」が持てるような学校づくりに努める。	⑧大運動会の企画・立案・実施を生徒会が中心となって行うことで成功体験をもたせる。	行事後のアンケート	
		⑧文化祭を新2年生徒会と文化委員会を中心に実施することで愛校心や一体感をもたせる。		
		⑧生徒会全般の活動を通じて、自主性や主体性を高める。 ⑧部活動への積極的加入を促す。特に1年生には部活動体験を行うことで入部率を高める。		
	D リーダーシップ、フォロワーシップの育成を図る。	⑪大運動会・文化祭などの学校行事を通じてリーダー性を育成していくとともに、全員で成功させるために一人一人が何をすべきかを考えて行動できる態度を育成する。	行事後のアンケート	
⑫基本的な感染防止対策を講じながら、地域でできることを探し地域連携を深める。				
健康管理課	A 生徒の心身の健康が守られる環境を作る。	①毎月1回教育相談委員会を開き、情報共有と支援の方策検討を行う。	健康管理課アンケート(「保健だより」の内容について)	
		①個別の支援が必要な生徒について、特別支援及び教育相談についての個別支援シートを作成し、見直し、更新を行う。		
		②職員の生徒理解、支援力の向上のための研修・情報共有を行う。 ②生徒の心身の健康を守る「保健だより」を作成し、オンライン上で配付する。		
	A 「学びの場」にふさわしい清潔で整備された環境を作る。	⑨清掃用具の点検・補充を適切に行う。	健康管理課アンケート(清掃状況等について)	
		⑨行事前などに美化強化週間を実施し、清掃の徹底を図る。		
		⑨生徒・職員ともにごみの持ち帰りやペーパーレス化、リサイクルを呼びかけ、ゴミの削減を行う。		
	A 防災・危機管理意識を高め、生徒の安全が守られる環境を作る。	①③災害に対する理解を深め、水害・地震・火災の際に実際に自分の身を守る行動ができるような防災避難訓練を実施する。	健康管理課アンケート(災害・校内の危険箇所について)	
		①緊急時に備え、迅速な救急救命ができるように、生徒(部活動生徒)、職員に心肺蘇生法・エビデン使用法の研修を行う。 ①校舎改築に伴う工事のために、校内に危険箇所がある可能性があるため、危険箇所を確認し、状況に応じて注意喚起を行う。		
D 生徒が主体的に健康管理・環境美化・学校安全に取り組める環境を作る。	⑫総合的な探究の時間などを活用し、生徒が主体的に「地域の防災」について考え、行動する。	健康管理課アンケート(保健委員会・美化委員会の活動について)		
	⑬美化委員会が中心となって、美化強化週間の運営、ハンドソープの補充や掃除用具の点検・補充等を実施する。 ⑬保健委員会が中心となって、アルコール補充、保健だより作成を行う。			

進路指導課	B 生徒の学力や進路に関する情報を学年職員や教科担当職員および保護者と共有する	④模試分析会や受験校を検討する会議を設定し、各生徒や各教科の抱える課題について協議し、解決策を検討する。 ④学期に1回「進路希望調査」を実施し、生徒の進路希望を職員で共有する。 ④定期的に「進路だより」を発行し、時期に応じて様々な進路情報を生徒及び保護者に提供する。 ④「進路のしおり」の内容の充実を図り、進路指導に役立てる。	「進路のしおり」の活用状況 「進路だより」や「進路のしおり」に掲載してほしい情報の聞き取り		
	B 生徒の多様な進路希望を実現できるよう、各生徒に応じた進路指導を行う。	⑤⑥科目別やレベル別に選択できる課外を実施し、生徒の学力を高める。 ⑤⑥⑦生徒の活動履歴や特性を生かし、総合型選抜や学校推薦型選抜での合格率を高める。 ⑤⑥⑦学年職員や進路指導課で生徒の学力を見極め、一般受験で国公立大学を目指す生徒を育成する。 ④⑦総合的な探究の時間で進路について考える時間を設け、生徒の主体的な進路選択と教師からの適切な助言ができるようにする。 ④公務員課外の実施や外部との連携を図りながら、公務員指導の充実化を図る。 ④研修等をととして、小論文や志望理由書の技術指導を向上させ、生徒一人一人に応じた指導を職員一丸となって行う。	課外の受講率、課外受講の有無と模試成績の関連性 推薦型選抜の合格実績、一般選抜の合格実績 公務員の合格実績		
	D 生徒に自己の在り方や生き方を考える機会や失敗を恐れずにチャレンジする機会を与え、積極的な挑戦や主体的な行動を促す。	⑪⑫⑬ふれあい看護体験や次世代リーダー養成塾、知の創造塾、インターンシップなどの校外研修への参加を促す。 ⑪⑫⑬生徒の挑戦を促すために、「やま盛チャレンジポイント(チャレポ)」を運用する。 ⑪⑫⑬生徒が自身の活動を振り返ることができるよう、「山門キャリアパスポート」を運用する。	研修実施後のアンケートまたは振り返り、聞き取り やま盛チャレンジポイントの集計結果		
研修課	A 生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、生徒の心身を支える教師の資質能力を向上させるための研修を行う。	①③「救命処置・心肺蘇生法」、「生徒理解と支援について(不登校、発達障害等)」「人権・同和教育」の研修を全職員で行う。	学校生活アンケート		
	B 生徒の多様な進路希望を実現することができるよう、すべての生徒の学力を伸ばすために、授業改善、授業力向上、ICT活用指導力向上を図る取り組みを行う。	④「小論文、志望理由書の指導について」の研修を全職員で行うとともに、校外での諸研修への積極的な参加を促す。 ⑤⑥⑦全教科統一テーマを「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」とし、学校での授業を「理解」させるとともに、「予習・復習(家庭学習)」により「学力の伸びを実感」させるような指導の在り方を、教科内で検討しまとめる。 ⑤⑥⑦授業改善のための研究授業を教科で1名以上、授業参観を全職員年間2回以上行うこととし、「わかる、わかりやすい授業」を超えて、「わかるまで教える、学べる授業」、生徒が「納得できる授業」を仕組むための研鑽の機会とする。 ⑤⑥⑦授業アンケートを年に2回行い、分析と課題の明確化を通じ、生徒の学習意欲を向上させる。特に、生徒の「復習」習慣と「学力の伸びの実感」を向上させることをめざす。	授業アンケート		
	D 在り方生き方を考えさせる機会、失敗を恐れずにチャレンジさせる機会を学校の内外で仕組み、主体性、自律心や企画力、リーダー性を育む。	⑪⑬図書の出し出しを中心とした図書館の利用促進を図り、校内の図書委員会活動や、地区や支部での図書委員研修会などへの生徒の積極的な参加と企画・運営を支援する。	図書委員会及び図書館利用アンケート		
第1学年	A 生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう生徒理解に努め、生徒の生命や人権が大切にされる学びの環境づくりに努める。	①②学校生活のあらゆる場面で積極的に生徒と関わることで状況を把握し、職員で共有することで、十分な支援を行う。 ②保護者と密に情報交換を行うとともに、保健室や健康管理課と情報を共有して生徒の心身の変化に迅速に対応する。 ③人権同和教育を中心に、学校生活のあらゆる場面において、生徒一人一人が大切にされる指導を行う。	学校生活アンケート【生徒対象】 進路アンケート(面談資料)【生徒対象】 人権同和教育授業アンケート(感想)【生徒対象】		
	B 生徒一人一人が進路目標をもてるよう指導し、多様な進路目標を実現するために、すべての生徒の学力を伸ばす。	④HRや総探、面談などで幅広い情報を提供することで、視野を広げさせ、個々の進路目標を明確にさせる。 ⑤親身で丁寧な「わかるまで教える」授業を心がけ、ClassroomやChromebookなどを活用し、生徒が「わかるまで学べる」環境を作る。 ⑥学年会や模試分析会で現状を把握し、学年全体で学力向上に向けた取り組みを検討し、組織的に取り組む。	進路調査【生徒対象】 授業アンケート【生徒対象】		
	C 学校内外での様々な活動からの学びを通して、母校や地域への誇りを持った生徒を育てる。	⑧学校行事や地域での活動に積極的に取り組ませることで、生徒の所属感を高め、愛校心や地域愛を育む。 ⑨生徒と教師がともに丁寧な清掃活動を行うことで、心地よい学び場をつくり、誠実な心を育成する。 ⑩卒業生等の講演会の際にはメモを取り、振り返りを書かせることで、自分の課題を把握させ、自己の在り方・生き方を考えさせる。	行事ごとのアンケート【生徒対象】 講演会後のアンケートまたは振り返り【生徒対象】		
	D 学校行事等にチャレンジすることを通して、失敗を恐れず挑戦する気持ちを養い、生徒の主体性や自立心を育む。	⑪学校行事やボランティア活動に積極的に取り組ませ、生徒一人一人の可能性を最大限に広げる。 ⑫地域と連携しながら地域に密着した様々な活動を通して、地域に必要とされる生徒を育成する。 ⑬教師が見通しをもって入念な準備を行うことで、生徒の成功体験を増やし、主体性を育てる。	行事ごとのアンケート【生徒対象】 ボランティア活動実績調査または振り返り【生徒対象】		
第2学年	A 全ての生徒が落ち着いた安全・安心な学校生活を送ることができるよう、生徒一人一人を大切に、生命・健康・人権が尊重される学級・学年づくりに努める。	①④各学期最低1回以上の面談と学年団・健康管理課との情報共有を行うことで、全員で生徒を支援し指導していく。 ②保護者との連携を密に図り、必要であれば面談や保護者会を適宜行う。また管理職への報告や相談も徹底する。 ③人権同和教育授業を中心に、学校生活のあらゆる場面において生徒の人権が大切にされる指導を行う。	学校生活アンケート【生徒対象】 進路アンケート(面談資料)【生徒対象】 人権同和教育授業アンケート(感想)【生徒対象】		
	B 生徒の進路希望を実現することができるよう学年団全員が親身になって指導をし、すべての生徒の学力を伸ばす。	⑤⑦生徒の多様な進路希望実現のため、習熟度に合わせた教科指導を行う。 ⑥「分かるまで学べる」を実現するためにClassroomを活用し、復習教材や復習の指示を配信することで、復習する習慣を身につけさせる。 ⑤⑦模試分析会や学年会の中で教科間の情報をしっかりと共有し、生徒の学力向上に対して計画的に方策を検討していく。	進路調査【生徒対象】 授業アンケート【生徒対象】		
	C 愛校心や奉仕精神をもち、母校や地域への自信や誇りを持った生徒を育てる。	⑨学校行事や地域のボランティアを通じて愛校心や地域への思いを高めさせる。 ⑩毎日の清掃と整理整頓を徹底させ、公共物を丁寧に扱う心を育成する。 ⑪卒業生の講話等の後は感想文を書かせ、自己の在り方や社会における役割を考えさせるとともに、教員からのフィードバックも行う。	行事ごとのアンケート【生徒対象】		
	D 行事や校外研修に果敢にチャレンジさせることで、先輩を支え後輩を牽引する自己の役割を自覚させるとともに、主体性・自律心・企画力・リーダー性・チャレンジ精神をもった生徒を育む。	⑫大運動会の係員の経験を通して、リーダーを支えるフォロワーシップや、後輩を指揮するリーダーシップを学ばせる。 ⑬学校行事や探究活動、ボランティア等様々な場面でみやま市と連携することで、生徒に外部での研修や体験を積ませる。 ⑭生徒の企画運営を裏で教員が支えながら、生徒に成功体験を積み自信を持たせていく。	大運動会アンケート【生徒対象】 ボランティア活動実績調査【生徒対象】		

第3学年	A 全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、学年全体で生徒一人一人を支える。	①二者面談をとおして生徒の状況を把握し、必要に応じて健康管理課と連携しながら生徒全員が安心して学校生活を送る支援を行う。	学校生活アンケート【生徒対象】 進路アンケート(面談資料)【生徒対象】 人権同和教育授業アンケート(感想)【生徒対象】	
		②保護者との日頃からの情報交換や三者面談、職員間の情報共有をとおして、一貫した教育活動を行う。		
		③人権同和教育授業を中心に、すべての授業において生徒一人一人が大切にされる指導を行う。		
	B 生徒の多様な進路希望を実現するために、目標達成の道筋を示してすべての生徒の学力を伸ばす。	④多様な進路希望を学年全体で把握・共有し、個に応じた進路指導・教科指導を実践する。	進路調査【生徒対象】 授業アンケート【生徒対象】	
		⑤ChromebookやClassroomを活用し、生徒が「分かるまで学べる」ような環境を作る。		
		⑥進路希望に応じたクラス編成、習熟度別に授業を行い、進路に応じた教材や進度を工夫した授業を実践する。		
	C 卒業後も一人一人が「母校に対する自信と誇り」を持つような生徒を育てる。	⑦大運動会の成功を目指して生徒一人一人が役割を果たすことにより、連帯感や所属感を高める。	行事ごとのアンケート【生徒対象】	
		⑨新しい校舎を後輩に引き継ぐという意識を持って、教員と生徒がともに環境美化・整理整頓を実践する。		
		⑩卒業生の講演会等をおとして、自己の生き方あり方を考えさせるとともに生徒自身が立派な先輩になりたいと思えるように促す。		
	D 学校行事や希望進路に向けて、失敗を恐れずチャレンジさせることで社会でたくましく生きる力を育む。	⑪大運動会の役員や様々なチャレンジをとおして、生徒一人一人の力を最大限に引き出し、生徒の可能性を広げる。	大運動会アンケート【生徒対象】 ボランティア活動実績調査【生徒対象】	
		⑫公務員を目指している生徒を中心に、地域を支える存在となれるような活動を充実させる。		
		⑬生徒の企画運営や第一志望合格を切り拓いていけるように、教員が導き支えながら丁寧に指導していく。		
理数探究コース	B 生徒の進路希望に関する情報を職員間で共有し、生徒が主体的に進路選択できるよう支援する。	④進路指導課と連携しながら、大学と連携した研修や校外活動研修の充実を図る。	取組実施後のアンケートまたは聞き取り	
		④理数探究コースの担任と生徒の進路希望情報を共有し、必要に応じて受験に関する情報を提供する。		
	C 理数探究コース独自のカリキュラムや取組をとおして、生徒の主体的な学びを促す。	⑥「理数ラボ」や「国際理数」の授業をとおして、生徒が学ぶ楽しさを感じ、主体的に学びに向かうよう支援する。	体験的な授業を実施したあとのアンケートまたは振り返り、聞き取り	
		⑧理数探究コース独自のカリキュラムにおいて、学年を超えた指導を行い、生徒同士の教え合いや交流の場を設ける。		
	E 理数探究コースの特色や生徒の活動の様子を地域に発信する。	⑧理数探究コースの第2学年の生徒に対して、東京研修を実施する(修学旅行期間)。	体験入学等の取組実施後のアンケート	
		⑭⑮⑯理数探究コースの生徒の活動を、広報担当と連携して保護者や地域に発信する。		
	⑭⑮⑯広報担当と連携して、地域の中学生を交えた取り組みを企画する。			